

# 岩手県感染症週報

平成18年第31週（7月31日～8月6日）

岩手県結核 感染症情報センター

## 第31週の概要

1 類感染症

2 類感染症

・患者発生の報告はありませんでした。

3 類感染症

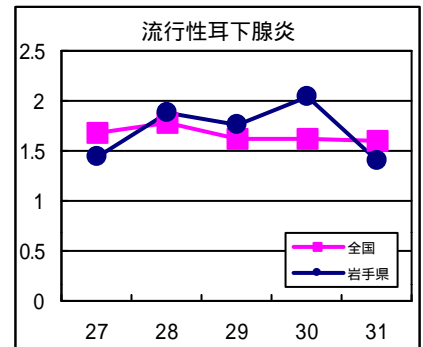
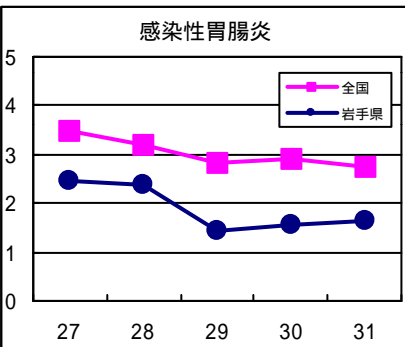
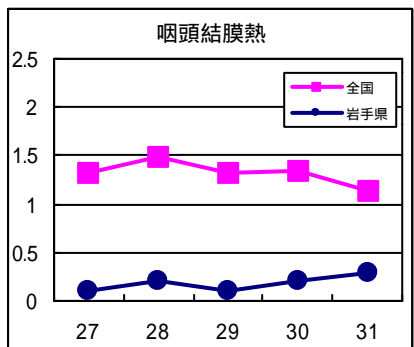
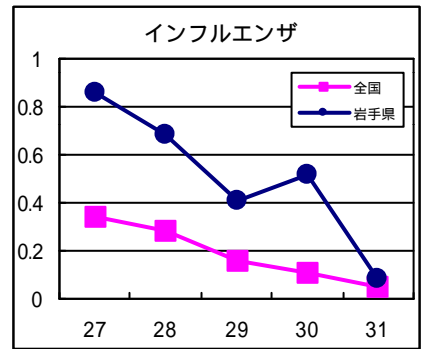
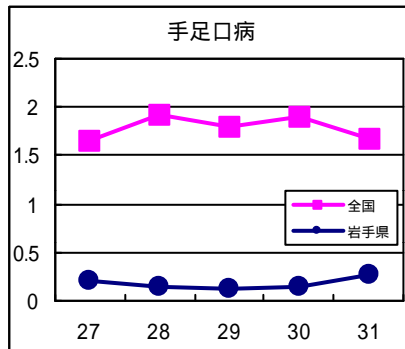
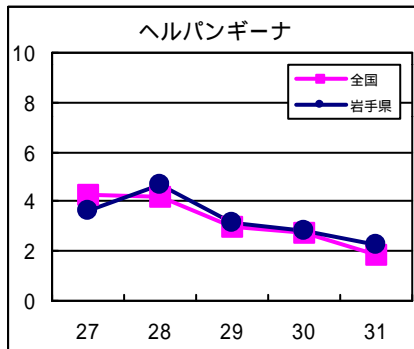
・腸管出血性大腸菌感染症は、盛岡地区から4例の報告がありました。今年の県内の患者報告は25例となり、そのうち10例は9歳以下の患者です。県内では例年、8月から9月にかけて患者報告が増加します。食品の十分な加熱、厨房用具の消毒など食中毒予防を徹底するとともに、保育園や施設など集団生活の場では、手洗いの励行などにより二次感染を防ぐことも大切です。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・ヘルパンギーナは、前週に続きほとんどの地区で減少を続けていますが、沿岸部では内陸部に比べ患者がやや多くなっています。
- ・インフルエンザは、久慈地区で5月下旬から前週まで患者の報告が続いていましたが、この週には大きく減少しました。同地区での流行も終息したものと思われます。
- ・夏休み期間中に海外へ渡航される方は、現地で感染症にかからないように、正しい知識と予防方法を身につけることが大切です。現地の感染症情報は、空港等の検疫所で入手できます。また、帰国後に体調が悪くなった場合は、医療機関を受診し、渡航先、滞在期間、動物との接触や虫刺されの有無などを申し出ることが重要です。

## 最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		27	28	29	30	31		
インフルエンザ	岩手県	0.86	0.68	0.41	0.52	0.08	↘	
	全国	0.34	0.28	0.16	0.11	0.05		
RSウイルス感染症	岩手県	0	0.03	0	0.03	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02		
咽頭結膜熱	岩手県	0.1	0.21	0.1	0.21	0.28	→	
	全国	1.33	1.48	1.32	1.34	1.13		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.46	0.56	0.77	0.46	0.41	→	
	全国	1.65	1.37	1.06	0.97	0.82		
感染性胃腸炎	岩手県	2.46	2.36	1.44	1.56	1.62	→	
	全国	3.48	3.2	2.82	2.92	2.76		
水痘	岩手県	1.33	1.13	0.82	0.87	1	→	
	全国	1.65	1.48	1.24	1	1.1		
手足口病	岩手県	0.21	0.15	0.13	0.15	0.26	→	
	全国	1.66	1.93	1.8	1.9	1.68		
伝染性紅斑	岩手県	0.15	0.18	0.05	0.33	0.38	→	
	全国	0.61	0.76	0.39	0.56	0.45		
突発性発疹	岩手県	0.41	0.36	0.38	0.41	0.56	→	
	全国	0.79	0.81	0.73	0.82	0.82		
百日咳	岩手県	0.05	0	0	0	0.05	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0.01	0	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	3.64	4.64	3.15	2.79	2.23	↘	
	全国	4.24	4.19	2.98	2.71	1.85		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	1.44	1.87	1.77	2.05	1.41	↘	
	全国	1.68	1.78	1.61	1.62	1.59		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.03	0.02	0.03	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	1.08	1.33	0.83	1.5	1.25	→	
	全国	1.41	1.5	1.35	1.37	1.31		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0.05	→	
	全国	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.08	0.11	0.1	0.16	0.16		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.5	0.25	0.1	0.65	0.4	→	
	全国	0.42	0.4	0.32	0.46	0.41		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0.01	0.01	0	0		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↘ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↙ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

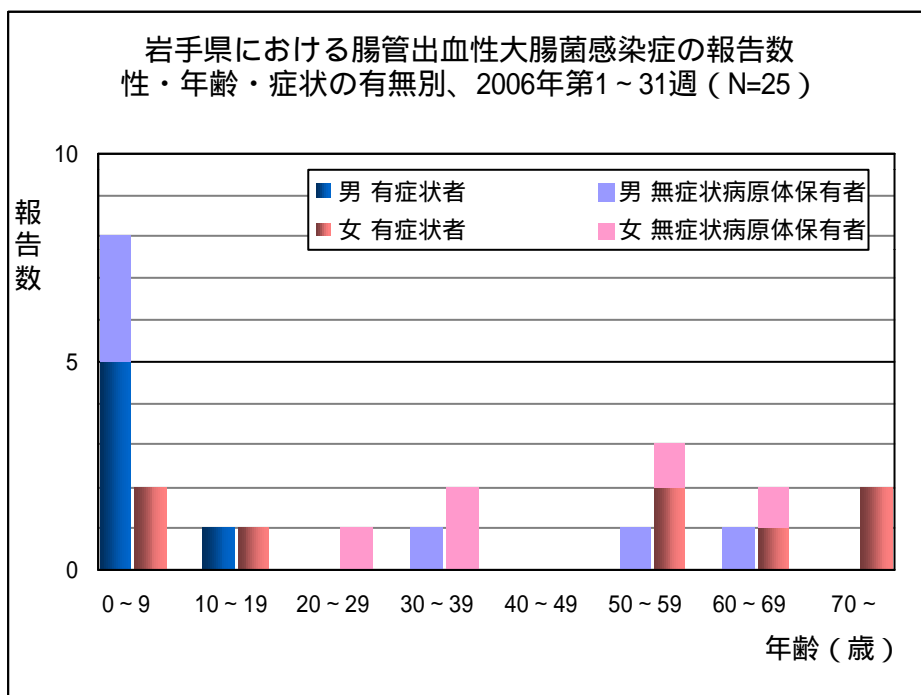
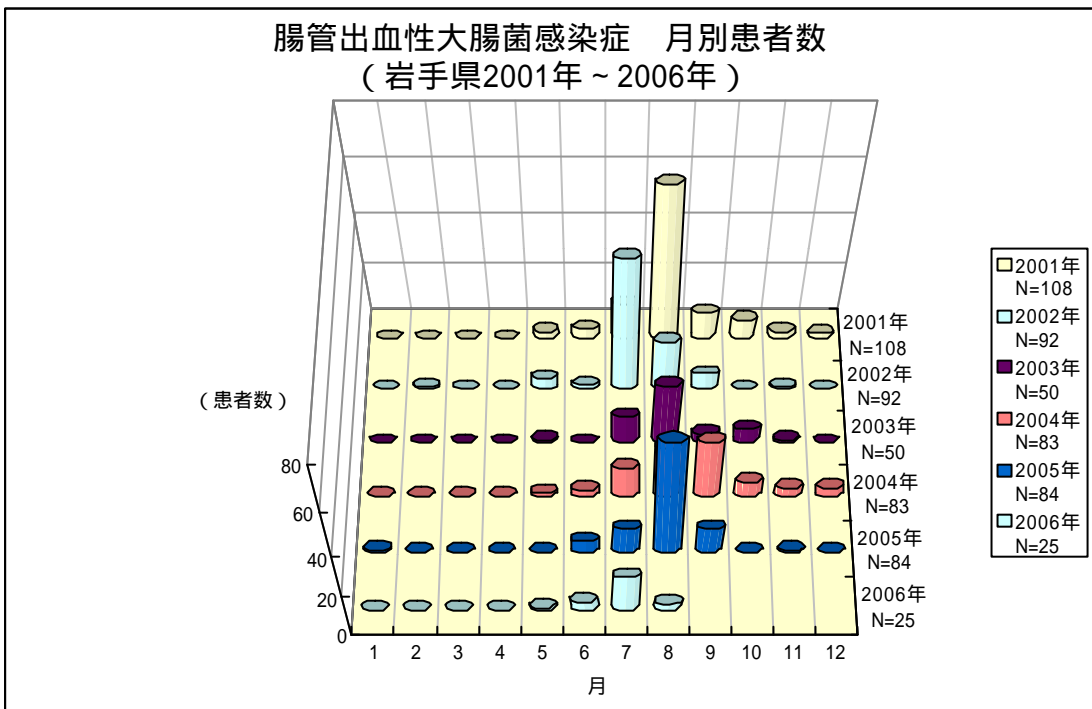
分類	疾病名	岩手県					累計	全国	
		27	28	29	30	31		31	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	コレラ	0	0	0	0	0	0	1	24
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	7	123
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	37
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	12
三類	腸管出血性大腸菌感染症	5	6	5	0	4	25	145	1576
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	24
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	144
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	9
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	1	0	9
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	高病原性鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	1	0	0	0	3	0	151
	デング熱	0	0	0	0	0	0	2	20
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	14
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺炎候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	2
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	1	
マラリア	0	0	0	0	0	0	1	28	
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	3	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	1	0	1	23	193	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	1	
五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	1	7	302
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	0	2	94
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	1	0	38
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	2	7
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	7	61
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	49
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	1	0	2	13	476
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	41
	髄膜炎性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	4
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	1	0	0	0	0	3	5	247
	破傷風	0	0	0	0	0	0	2	50
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	1	0	32

今注目の感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、今年は5月に最初の患者報告があり、第31週までに25例が報告されている。性別では、男性が12例、女性が13例であり、年齢階級別では、0～9歳が10例と多い。分離された菌の血清型別では、O157が14例、O26が9例、O103及びO128がそれぞれ1例であった。

本疾患は例年夏に増加するため、今後の発生動向には注意が必要である。食中毒予防を徹底するとともに、保育園や施設などでは二次感染を防ぐため、手洗いの励行が重要である。



## 病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭拭い液からパラインフルエンザウイルス3型を1例分離検出しました。

## 医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

## 集団感染情報

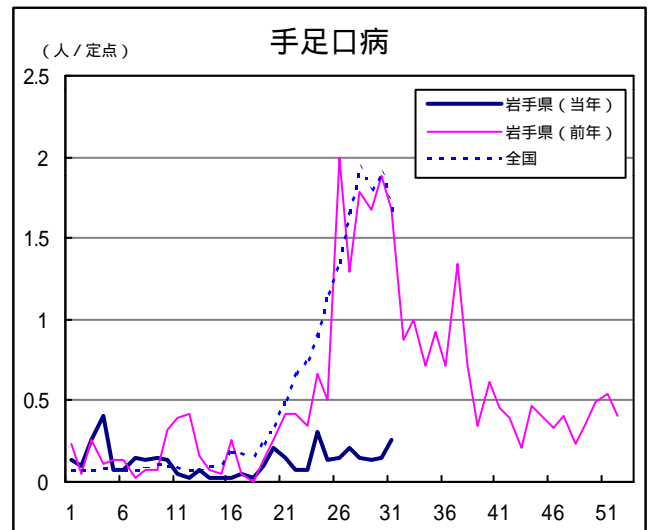
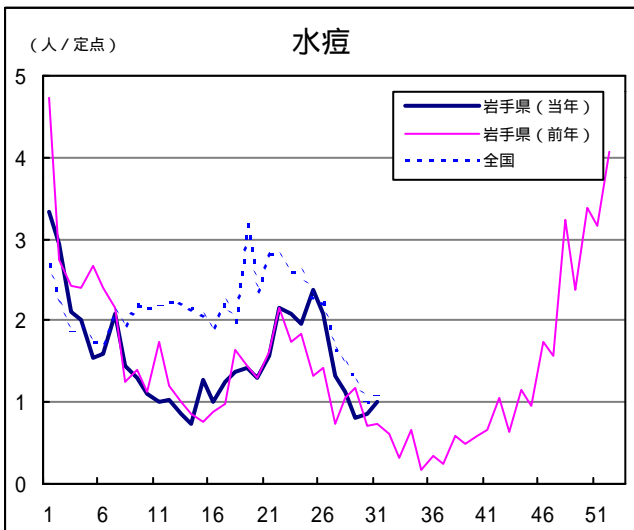
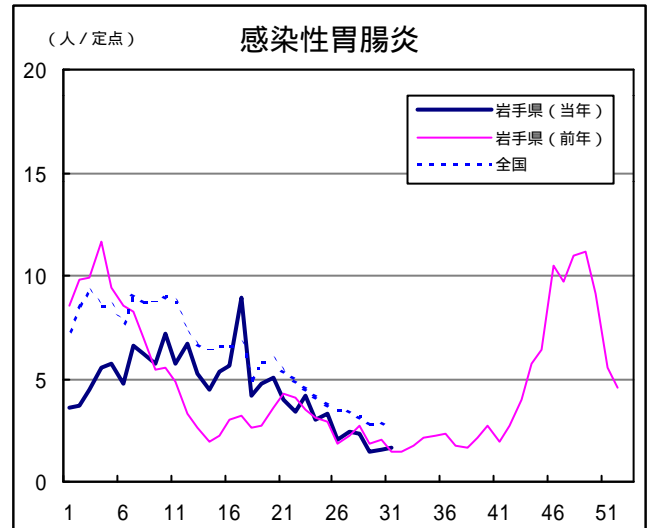
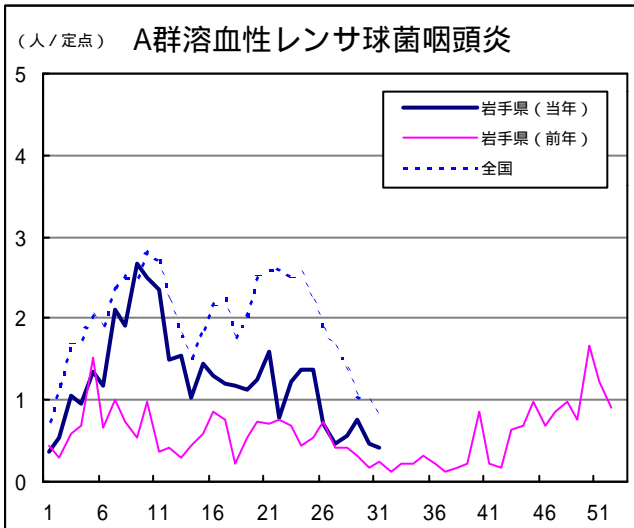
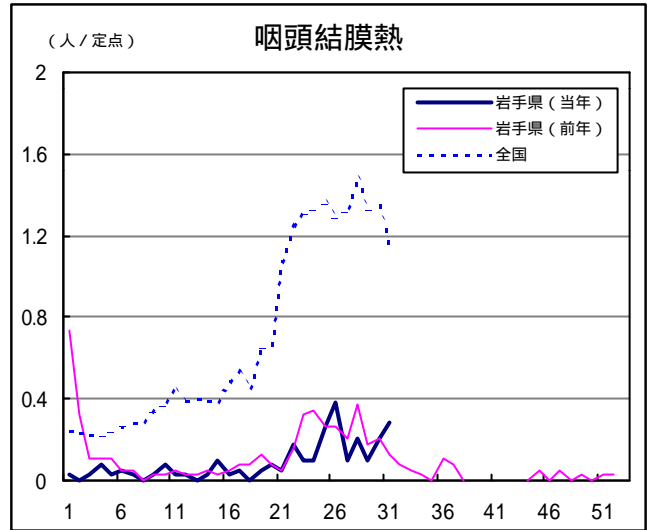
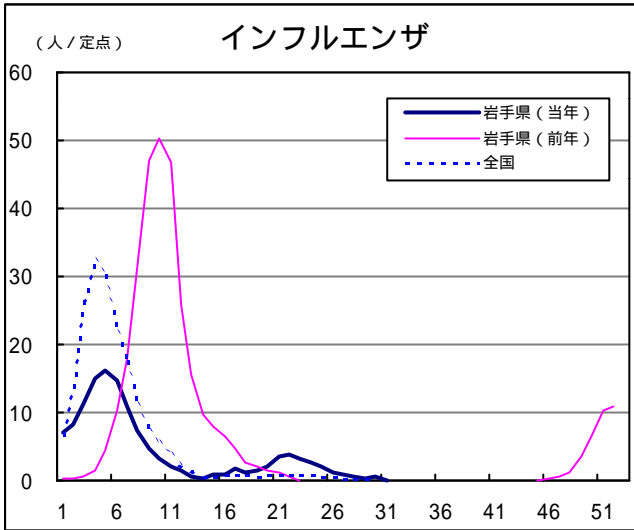
- ・この週には集団感染の情報はありません。

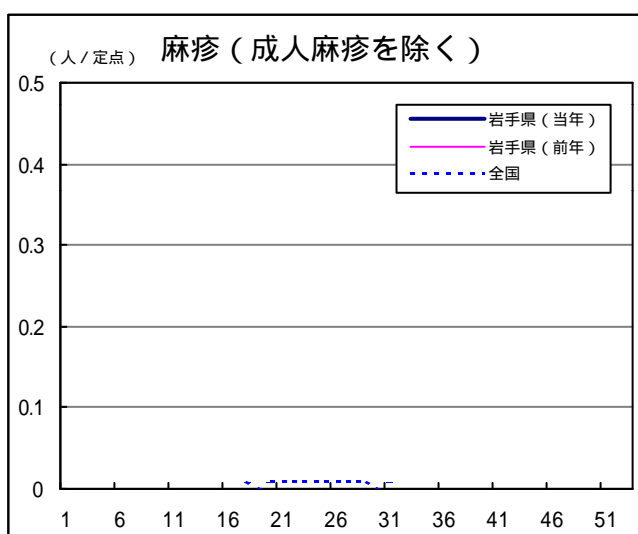
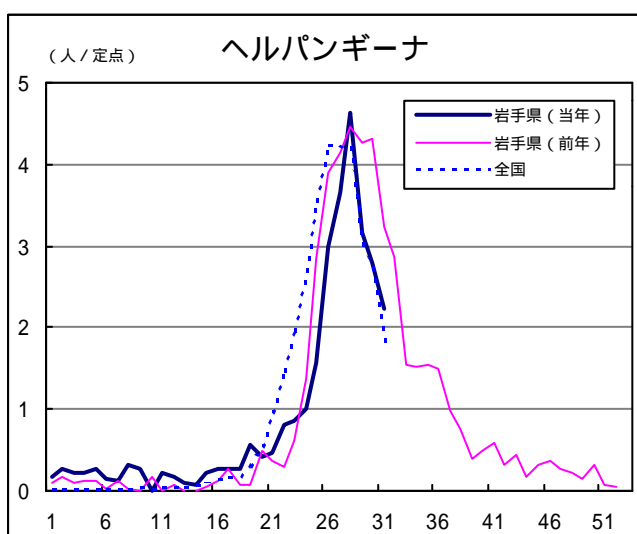
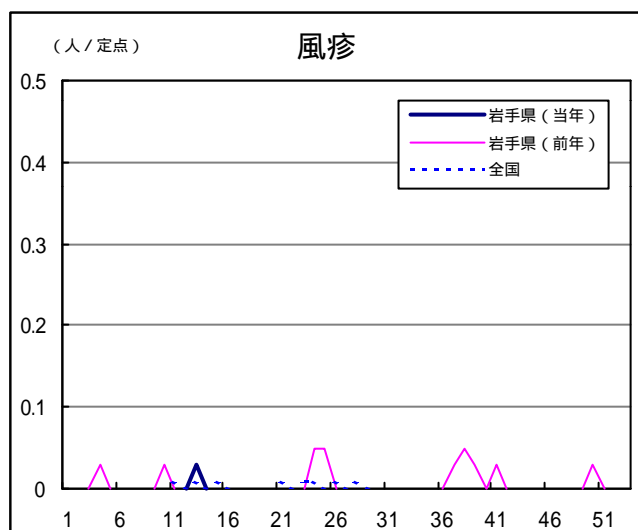
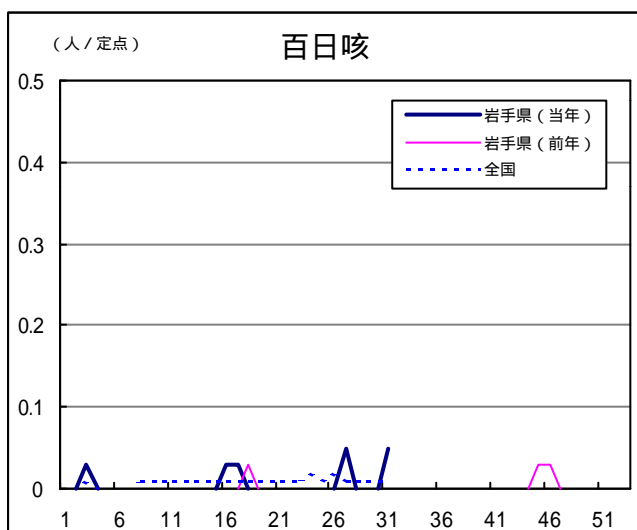
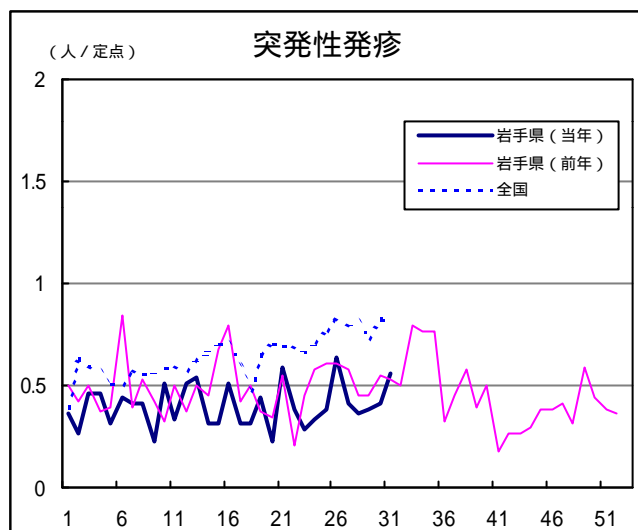
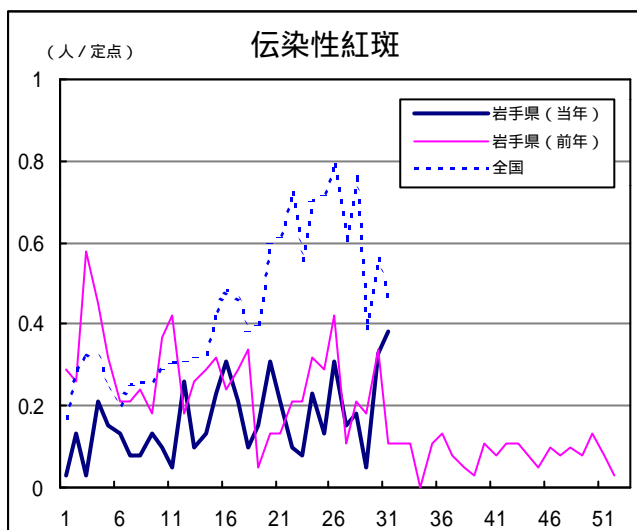
## Q & A

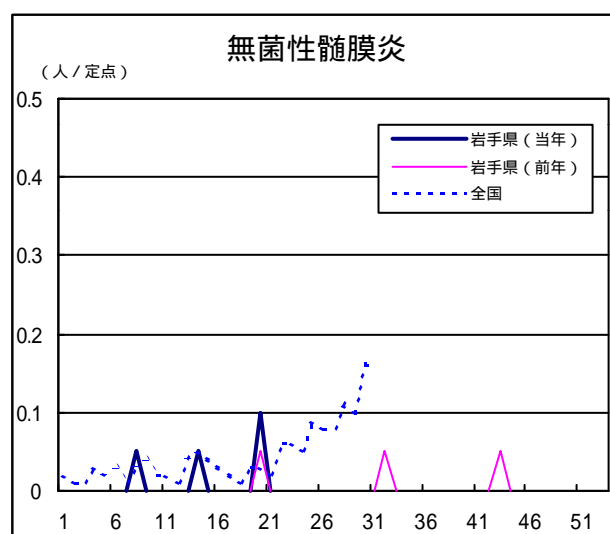
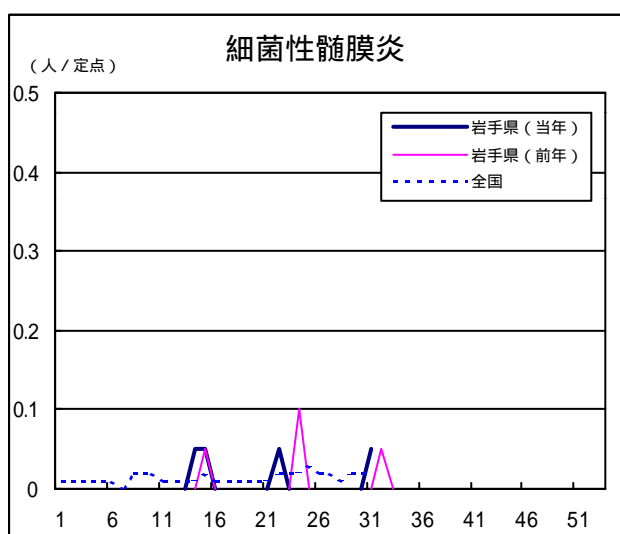
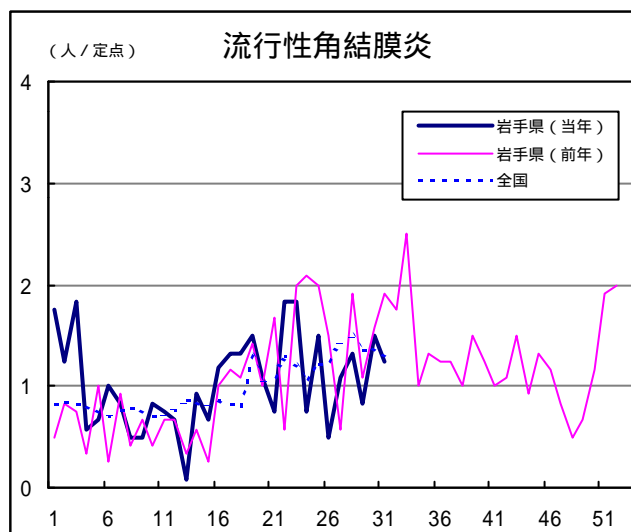
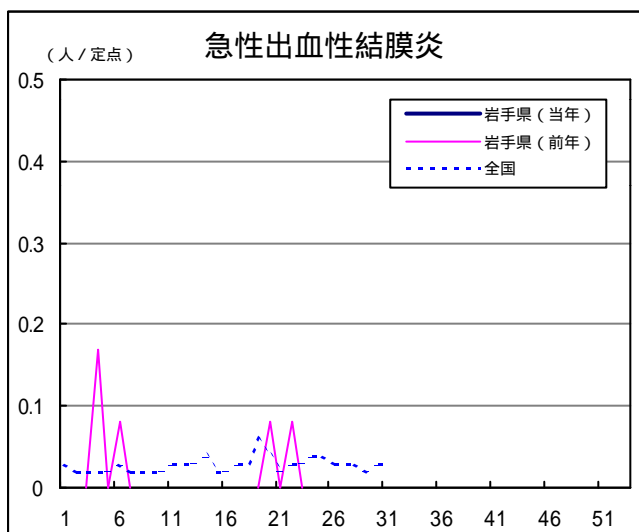
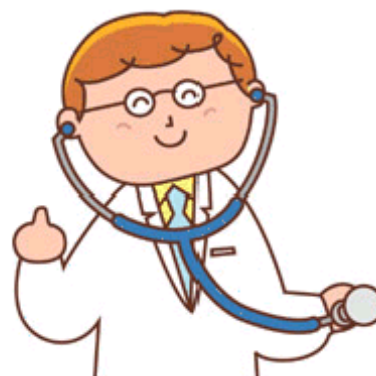
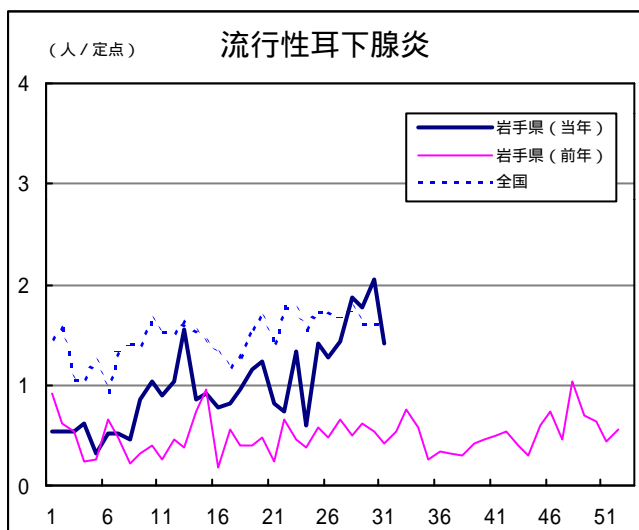
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。  
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

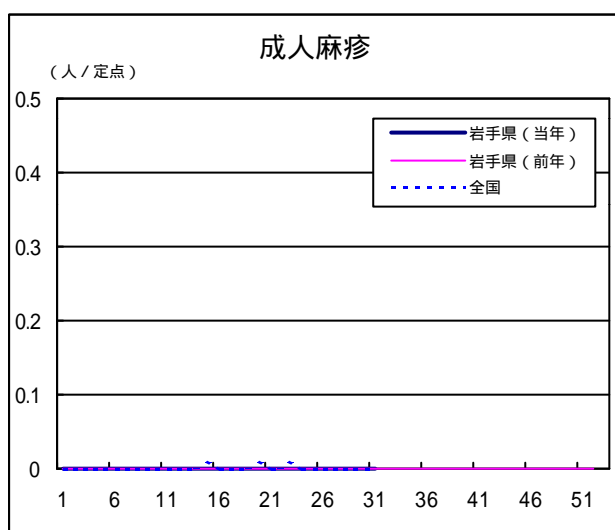
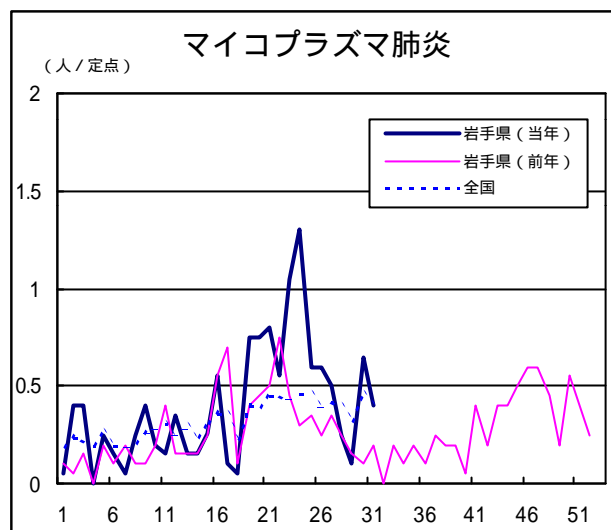
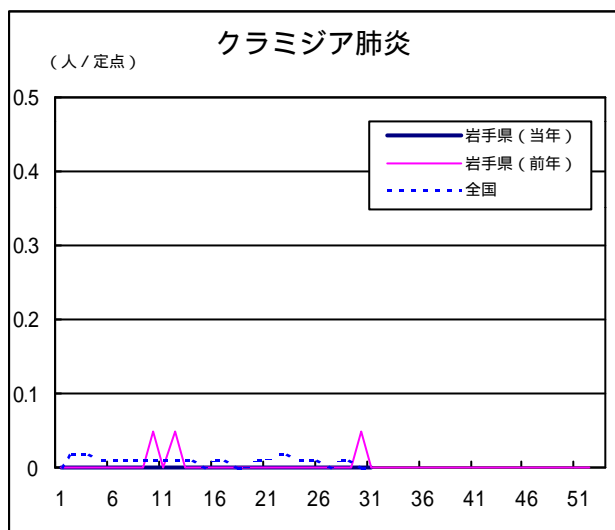
疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）











定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
<b>岩手県</b>	<b>63</b>	<b>39</b>	<b>12</b>	<b>20</b>
盛岡	17	11	3	5
花巻	7	4	1	3
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする  
**「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」**を配信しています。  
 配信の登録は以下のURLからお願いします。  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成18年第31週 平成18年8月11日発行  
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会  
 発行：岩手県環境保健研究センター  
 岩手県保健福祉部保健衛生課  
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター  
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp  
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>  
 <岩手県結核・感染症情報センター>  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>  
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>